



朝、夕はめっまり寒くなり、秋も深まっています。10月の初めから一ヶ月余り皆さまには大変ご迷惑をおかけしておりましたが、ようやく新古川動物病院が完成いたしました。どうでしょうか。色々な所が変わっているでしょう。きゅうくつだった待ち合い室も広くなり、わんちゃんとおこちゃんが顔を合わせたりすることも少なく、大型犬を連れてこられた方にも病院内で待っていただけるかと思っています。そして、スタッフのユニフォームも今までのイメージとちがう新しい形を取り入れ、新しい気分一新、看護に務めたいと思っています。

どうぞ、新しくなった古川動物病院を、今後ともよろしくお願いたします。

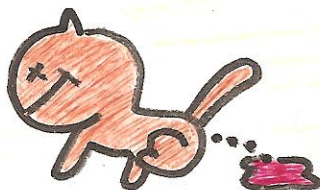
よろしく



## 膀胱炎のおはなし

女小生の方で膀胱炎を経験された方は多いと思います。残尿感や腹部の痛み、かなりの不快感があります。犬や猫にも膀胱炎があります。しかし、言葉で訴えることの出来ないこの子たちには、飼いさんの日々の観察が早期発見のポイントともなります。

原因は、膣や陰茎などから細菌等が侵入して発症したり膀胱や尿路などに結石ができて、その石が膀胱や尿路を傷つけ、細菌などが繁殖し炎症をひき起こし発症することが多いのです。





## 症状としては？

- ① いつもに比べて尿の回数が増える (しゃちゅう排尿姿勢をしている)  
(その時、尿が出ているか出ていないか観察する。)
- ② 尿をする時 繁瑣期のような変な声を出している。
- ③ 出た尿が茶褐色だったり赤かったりしている (血尿)
- ④ 出た尿に膿状のものが混じっている。

など....

診断は尿検査で行います。

膀胱内から直接尿を採取して顕微鏡で細菌がいるかどうかを調べます。結石の有無も調べます。

膀胱炎であれば数週間抗生物質の内服を投与し続けて殺菌をします。それが結石が原因である場合は結石を溶かす食事療法が加わります。

おしこは健康のバロメーター!! 毎日のおうじの時尿の確認をお忘れなく。

また

排尿姿勢をしているのにおしこが出ていない時や鮮血が多量に出ている時などは結石が尿道でつまっていたり、膀胱内に腫瘍が存在している場合など...という事もあります。異常に気づいたら、早めの受診をおすすめします。

## 🌸 やすらかに...タロちゃん 🌸

先日、当院の長老だったネコのタロちゃんことタロウが天国へ遊ってしまいました。年齢は推定22~23歳。腎臓疾患が少なかったものの大きな病気もなく、人に迷惑をかけることもなく、長い間ずっとみんなを癒してくれていました。

お別れはさみしいけど、おうとタロちゃんの事を忘れることはないでしょう。本当に今までありがとうございました。タロちゃん♡

